

53-2次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和53年4月

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/  
333:9  
SE  
53

15101



53年2次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

職 種	要 請 数	国 名	調 査 表 の 有 無	ペー ジ	職 種	要 請 数	国 名	調 査 表 の 有 無	ペー ジ	
101 稲 作	4	フィリピン	○	1	131 家畜飼育	1	バングラデシュ		20	
	1	バングラデシュ	○	2	132 養 鶏	1	ザンビア	○	21	
	4	バングラデシュ			134 初生ヒナ鑑別	1	タンザニア			
	1	バングラデシュ	○	3	135 獣医師	2	シリア	○	22	
	4	ケニア				1	タンザニア			
102 食用作物	1	フィリピン	○	4	150 食品加工	1	フィリピン	○	23	
	2	ネパール	○	5	160 森林経営	1	エルサルバドル	○	24	
10302 野 菜	1	フィリピン	○	6		1	コスタリカ			
	1	フィリピン	○	7	16003 生態調査	1	マレーシア	○	25	
	1	フィリピン	○	8	161 製 材	1	マレーシア	○	26	
	1	バングラデシュ				1	ザンビア	○	27	
	2	バングラデシュ	○	9	170 漁具漁法	1	フィリピン	○	28	
	1	バングラデシュ	○	10		1	シリア			
	1	バングラデシュ				1	ケニア			
	1	バングラデシュ				2	モーリタニア			
	1	バングラデシュ	○	11		1	西サモア	○	29	
	1	ネパール	○	12		1	トンガ	○	30	
	5	ケニア				1	ソロモン諸島			
	3	ザンビア				171 養 殖	1	フィリピン	○	31
	1	西サモア	○	13		1	ケニア			
1	西サモア				180 水産物加工	1	西サモア			
10303 果 樹	1	バングラデシュ			201 陶 磁 器	1	フィリピン	○	32	
	3	ケニア				1	フィリピン	○	33	
	1	バングラデシュ			210 竹 工 芸	1	バングラデシュ	○	34	
105 き の こ	1	バングラデシュ			25001 プラスチック 成 形	1	エルサルバドル			
115 土 壌 肥 料	4	タンザニア	○	14	260 小型造船	1	ホンジュラス	○	35	
	1	エルサルバドル				1	ソロモン諸島			
120 農 業 土 木	4	モロ ッ コ				1	ソロモン諸島			
121 農 業 機 械	1	バングラデシュ	○	15	30103 地質調査	7	インドネシア			
	1	バングラデシュ	○	16	311 工作機械	1	フィリピン	○	36	
	1	バングラデシュ	○	17		1	フィリピン	○	37	
	5	バングラデシュ				1	フィリピン	○	38	
	1	バングラデシュ	○	18		1	マレーシア			
	1	タンザニア	○	19		1	バングラデシュ	○	39	
	2	タンザニア	○			312 冷凍機器	2	マラウイ	○	40

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
	1	エルサルバドル					ケ ニ ア		
	1	西 サ モ ア	有	41			タンザニア		
31502 視聴覚機器	1	チュニジア	有	42			マラウイ	有	58
	1	チュニジア					マラウイ	有	59
	1	西 サ モ ア	有	43			マラウイ	有	60
320 電気工事	1	ケ ニ ア					ザンビア	有	61
	1	モロッコ					ザンビア		
321 電気機器	1	フィリピン	有	44			ザンビア		
	1	タンザニア	有	45			ザンビア		
	1	マラウイ	有	46			ザンビア		
322 電子機器	1	フィリピン	有	47			エルサルバドル		
	1	マレーシア	有	48			西 サ モ ア	有	62
	2	チュニジア			361 電話線路	1	マレーシア	有	63
	2	チュニジア	有	49		2	ネパール	有	64
	1	モロッコ			381 無線通信機	2	ザンビア		
	1	ケ ニ ア				1	ザンビア		
	1	エルサルバドル	有	50		1	ザンビア		
	1	コスタリカ				1	ザンビア		
330 建設機械	1	ケ ニ ア				2	マラウイ		
	1	ケ ニ ア			383 パイロット	1	ザンビア		
	4	マラウイ			401 土木設計	1	マラウイ		
	1	タンザニア				1	マラウイ		
340 船舶機関	1	シリア			402 土木施工	2	モロッコ		
	1	ケ ニ ア				1	西 サ モ ア	有	65
	4	タンザニア	有	51		1	西 サ モ ア		
	1	モーリタニア			403 測 量	1	ネパール	有	66
	1	ホンジュラス				3	モロッコ		
	1	西 サ モ ア	有	52		1	タンザニア		
	1	トンガ	有	53	410 建 築	3	マラウイ	有	67
	1	ソロモン諸島				1	西 サ モ ア	有	68
350 自動車整備		フィリピン	有	54		1	西 サ モ ア		
		フィリピン	有	55	420 造 園	3	モロッコ		
		フィリピン	有	56		1	パラグアイ		
		マレーシア	有	57	430 配 管	1	ネパール	有	69
		ネパール			501 医 師	1	チュニジア	有	70
		チュニジア				1	チュニジア		
		モロッコ			502 歯科医師	1	西 サ モ ア	有	71
		ケ ニ ア			510 看護婦	1	フィリピン	有	72

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
	1	ネパール			782 理数科教師	1	フィリピン	有	87
	1	ネパール				6	ガナ	有	88.89
	1	ネパール	有	73		2	ケニア	有	90
	2	マラウイ				7	マラウイ	有	91
51006 助産婦	2	チュニジア	有	74	78501 体 育	1	ネパール	有	92
	9	マラウイ	有	75		1	ネパール	有	93
521 臨床検査師	1	西サモア	有	76	78503 陸上競技	5	インドネシア		
523 作業療法士	1	マレーシア	有	77	78504 体操競技	6	インドネシア		
	2	モロッコ				1	チュニジア	有	94
524 理学療法士	4	コスタリカ				1	モロッコ		
525 薬剤師	1	マラウイ				2	コスタリカ	有	95
550 公衆衛生	1	西サモア	有	78		1	ホンジュラス		
602 統計	1	マラウイ	有	79		1	ボリビア		
	1	コスタリカ			78505 水 泳	5	インドネシア		
611 秘書	1	チュニジア				1	フィリピン	有	96
	1	シリア				1	チュニジア	有	97
	1	ザンビア				1	モロッコ		
620 プログラマー	1	コスタリカ				1	ボリビア		
630 写真	1	パラグアイ			78507 バレーボール	2	インドネシア		
631 映画	1	マラウイ				2	チュニジア	有	78
640 家政	4	インドネシア				1	モロッコ		
	1	バンラデシュ	有	80		1	ザンビア		
	1	ケニア				1	ボリビア		
	2	ケニア			78508 バスケットボール	1	エルサルバドル		
64005 婦人子供服	1	ケニア	有	81	78601 柔 道	1	フィリピン	有	99
	1	ケニア				1	ネパール	有	100
64006 美容師	1	マレーシア				1	チュニジア	有	101
650 音楽	1	エルサルバドル				1	シリア	有	102
	3	コスタリカ				1	モロッコ		
	3	ホンジュラス	有	82.83.84		1	ケニア	有	103
	3	ホンジュラス	有	85.86		2	ザンビア	有	104
	3	ボリビア				1	ボリビア		

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52 年 10 月 8 日

101 稲 作

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Rice Culture	(男) 4 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作 - A	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 53 年 8 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Agricultural Credit Administration (ACA)  
(日本語): 農業信用協同

2. 隊員勤務先名称: Dagat-Kidawa Compact Farm Cluster 日本語名称 (ダガットキダワコンパクトファームクラスター) 群  
所在地 Dagat-Kidawa, Valencia, Bukidnon 主要都市からの距離 (ダバオより 45 キロ)

3. 事業規模及び内容: 連年の cluster には 4 の Compact farm が組織されており、今後この 4 の Compact farm を更に統合して、一つの大きな Compact farm cluster に組織していくことである。現在の組織内容には 12 の別荘地を界域とした 10 の農家

4. 設備概要: 当り平均面積は約 2.4 Ha, ACA ロ-ヴの発行額は平均 285 万ペソ。健全な Compact farm とする。

**(2) 隊員の業務内容:**

1. Compact farm (C.F.) を約 10 ha のゾーンに分け、各ゾーンにゾーンリーダーを置き、農作業はゾーン内で共同で行われている。5~6 のゾーンで 1 の C.F. が形成され、これには合計 12 の C.F. マネージャーがいる。約 4 の C.F. をまとめるマネージャーが 1 人いる。農業信用協同、農務局、農協等の機関と連絡をとり、組織的に活動している。これらについて、向きの農業技術に関する基礎的なことは学んでいる。

- ① 隊員の業務上の地位: 農業技術員
- ② ③ 技術の範囲、業務形態: 稲作の基礎技術指導、用水調整、排水の整備、稲作のみなぎ、農業一般の技術 (対象: ソルガム類 以外) 等
- ④ 対象者のターゲット: C.F. 内農家が対象でターゲットは広い。
- ⑤ 現地利用すべき材料: 特になし。
- ⑥ 必要個人: なし。
- ⑦ 使用語言: 英語、(口) 語。

\* この地域では NIA が中心となり "5 days Training on Intensive Agriculture for Irrigation System" というセミナーを実施しており C.F. の Zone Leader が参加している。またこの時に Philippine Packing Corporation で農家の講習会を実施予定である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: C.F. に関して ACA の 2 人、National Irrigation Administration の 3 人の技術者が指導しているが、専門知識の乏しさを懸念し、これらに指導が行われること。現在当地での収穫は 60~70 cav / Ha あり、これを増やす期待されている。適切な指導があれば 100~150 cav / Ha の収穫を得ることが難しいとされている。

(新増申請)

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

農業高校卒以上で実務経験のある人。実務経験 3~4 年以上。大学卒業程度であれば実務経験 2 年以上。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和 57 年 / 月 23 日

調査者氏名 バングラデシ駐在員

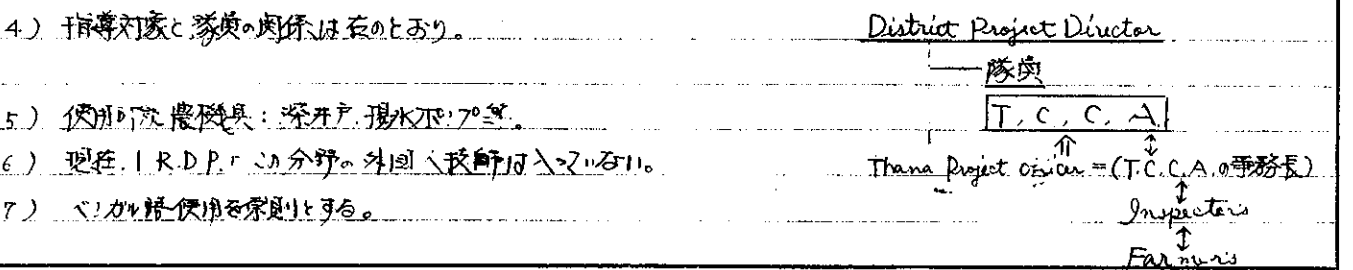
受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣
バングラデシ	(現地公用語) <i>Co-operatives (Organization &amp; Management)</i> (日本語) 農業協同組合 (組織と運営)	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	伊藤 健一 訓練開始 57 年 × 月 派遣予定 57 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Integrated Rural Development Programme (I.R.D.P.), Ministry of Local -*  
(日本語): *Government Rural Development & Co-operative* 総合農村開発計画局  
ロ. 隊員勤務先名称: *Project Director's office* 日本語名称 ( 県 庁 第 一 課 )  
所在地: 7 県の 県 庁 所在地より選択 主要都市からの距離 ( より キロ)  
ハ. 事業規模及び内容: I.R.D.P.は、農村地域における農村協同組合の組織化を主として、農業生産の増進、農民の生活上、並びに地域の総合的開発を推進している。各 District (県) に Project Director's office を持ち、農協の組織化、灌漑計画、農業肥料、資材の輸送、生産物の販路、農民の技術的・経済的指導、農業金融、  
ニ. 設備概要: 農村開発計画の調整を主たる業務とする。全計 413 Thana (郡) 中、150 Thana が I.R.D.P. による組織化が終り I.R.D.P. の傘下にある。

(2) 隊員の業務内容:

- 1) 隊員の業務上の地位: 隊員は各 District の総合農村開発事業を統括する District の I.R.D.P. project Director's office の Project Director として、各戸々の農協の組織化と統合に 112 Thana Central Co-operative Association (T.C.C.A.) に対し支援する。
- 2) 技術的範囲 } 隊員は 農業協同組合の組織化 指導に ついて 知識と技術を提供するとともに 郡農協連合
- 3) 業務の形態 } 各の組織的發展を助けるために 助言と報告を行う。  
T.C.C.A (郡農協連合会) では 農協のオルガニザ (事務長) 及びモデル Farmer を集めて 毎週 定期技術講習会を開く。隊員はここで技術指導を行なうとともに T.C.C.A 所属の指導員 (Inspector) を指導する。また 農協 (Village Co-operative Society) への技術指導を行なう。



(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

総合農村開発計画は、農民の自発的組織化を主として、農民の便から生活構造の近代化を計る。政府が支援し、財政的援助を行なうとする計画である。従って、単に生産の増進のみならず、社会変革の基本的因策である。従来の農業普及、農業開発公社への隊員派遣よりも、農民大衆との接触が中心となり、隊員に実践的指導を期待するところが大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1) 短大卒業程度
  - 2) 英文書及英会話の能力は、非常上好都合であるが、必須ではない。
- ③ 実務経験: 4 年以上、技術的指導を必要とするより I.R.D.P. 関係職員と農協農家の実践的指導の主要任務であるため、組織や事業体の働きについてある程度の認識を有していることが必須であり、社会経験は欠けず、農業金融に関する知識・経験を有することが望ましい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年11月18日

101 稲 作

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh バングラデシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (B.V.S.)  
(日本語): バングラデシュ ボランティア サービス

ロ. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project 日本語名称 (ランプール農村開発計画)  
所在地: ランポール県 バンガオン郡 ランプール村 主要都市からの距離 (コミラより) 50キロ

ハ. 事業規模及び内容: B.V.S.は1971年設立以来石算約3,000人の月内ボランティアを農村開発に従事させ、本年度は200万7カ(約5千万円)の予算で現在150人の月内ボランティアを擁する。ランプール計画は周年約647カ(約10万1千円)の予算で実施されている。

ニ. 設備概要: ランプールには5~6人前内蔵のスペースを有する事務所があるが、現在事務所・宿舎を建設することを計画中。

(2) 隊員の業務内容: 現在、ランプールには各地の大学から8人および地元から6人、スグレリストにはない休学中の学生が240名程に於て農村開発の一環として稲作栽培の普及に当たっているが、隊員はB.V.S.メンバーを指導して村内農民への普及活動を行う。

(1) 隊員の業務上の地位: B.V.S.メンバーの相談相手

(2) 技術の範囲: 直接の相手となる農民はB.V.S.メンバーの教育により文盲が減少し、その半数以上は文盲でなく、B.V.S.メンバーもスグレリストの中で基本的な知識・技術を十分と判断できる。しかし稲作の47年近く農業全般の幅の広い知識・技術が必要とされる。

(3) 業務の形態: 農村に於ける普及活動

(4) 対象者: カンローバートの技術水準: カンローバートはB.V.S.メンバーが休学中の大学生が主であり、そのB.V.S.メンバーが指導していることから技術水準は低い。

(5) 現地で利用できる材料: 農民が所有する畜力利用の伝統的な農具のみ。

(6) 職場に於ける日本人等: 来年から月内ボランティア(文盲でない)の開発途上12カ所からB.V.S.に20人派遣される計画があるが、何人かはランプールに配置される可能性がある。

(7) 使用する言語: ベンガル語(但し英語も特に必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: B.V.S.はその活動が国際的にも評価されている月内ボランティアの組織が、省以下活動中のJOCVE(若者)技術上のアドバイスを得意に、又同じアジアにある日本からのボランティアと共同で農村開発を進めたいという期待がある。特筆すべきは、高度な技術よりも日本では想像不能な厳しい条件下の省以下農村で働くボランティアにのみ、得る人間性と若さを強く重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では過去の例の通り特に厳しい資格・条件はないが、食糧・農民の心情を理解できる厳しい生活環境に耐えられる(心身ともに健全)な者が必要であること。

短大卒以上で実務経験1年以上が望ましい。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

102 食用作物

記入昭和52年12月10日

調査者氏名山崎 早

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Food Crops	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 食用作物-B	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bagang Pag-asa Foundation Project  
(日本語): バゴン・イガサ財団プロジェクト

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)  
所在地: Quezon Palanan 主要都市からの距離 (セントパウルより170キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 210万 Pesosの基金をもって1000人の原始林に100世帯を入植させ、25年間同入植者の支援を行うと共に同期間に入植者の自立を目指している。

ニ. 設備概要: 事務所、職員宿舎、南鯉用大型機械類及び冷蔵庫、入植者用宿舎、畜舎(牛、豚、山羊)等が整っている。

(2) 隊員の業務内容: 上記ハ.の計画に基づき、1994年からプロジェクトをスタートさせ、現在40世帯が入植し、水田3ha(作付開始)牧草地、石炭畑地、ココナツと定植)を既に南鯉し終え、その外に家畜として、牛(繁殖用)11頭、豚(繁殖用)5頭、山羊6頭、ウエー若干匹が飼育されている。

① 業務上の地位、技術スタッフとして勤務する。

② 技術の範囲、水稻、陸稻、野菜、穀類(トモコシ、ソルゴム、豆類)の外バナナ、ココナツ、コーヒー、キャッサバ等食用になる作物の栽培技術の指導。

③ 業務の形態、入植農家への技術移転及びデモンストレーションの実施。

④ 対象者及び現地技術者の水準及び学歴・年令、技術移転の中心は入植者であるが、ラスタ農業学校卒業後の地域の11年間 農業指導にあたりつづいた MY. URSULO MATURAN が一人は農業全般の指導にあたりつづいてるので彼のアドバンスをしながら自ら、農業一般の技術者としての活動を期待されている。

⑤ 職場にはオーストラリアの技術者はいたが、同 Foundation のプロモーターは粗人の神父さんである。

⑥ 使用する言語、いろいろの地域からの集合世帯であり、現地語を一本に統一できないので英語が中心となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同 Foundation より 74km 離れた所にある他の入植地で活動している隊員の活躍ぶりを知った Foundation の責任者が一冊知事を通じ要請を載せたものである。当面の期待は、オーストラリア入植者が、自給、自足できる状況をつくりあげることにある。 新規要請。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 農業講習所又は農業大学校を卒業した人で、農業一般に相当知識と経験があり、チームワークを導き出せる人。

経験年数はあった方が望ましいが、多様性と大きな度量を持つ人であれば、別に問わない。

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52 年 7 月 15 日

102 食用作物

調査者氏名 木内 志郎  
寺田 好男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Agronomy or Agriculture (in General)	(男) 2 人	訓練開始 S 52 年 10 月
	(日本語) 農業一般(穀物栽培他)	(女) 人	派遣予定 S53 年 2 月
		どちらでも可) 人	受入期限 53 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Janakpur Zone Agriculture Development Project

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Food, Agriculture & Irrigation, Dept. of Agri.  
(日本語): 食糧農業灌漑省, 農業局, 農業開発プロジェクト

ロ. 隊員勤務先名称: Rapti Model Farm, J.A.D.P. 日本語名称 (ラプティ模範農場)  
所在地: Yagvapur, Bhartpur, Chitwan Dist 主要都市からの距離 (ゴッポルより) 1.5 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 日本政府援助(JICA.)による農業開発計画である J.A.D.P. に属し, inner tarai 地方における穀類 園芸作物の試験農場であり, 改良栽培技術の導入 展示 普及を行うと共に Janakpur Zone 山間部農業開発に必要な種子生産及び農業技術普及のための基礎栽培を行う。  
ニ. 設備概要: 農業関係機械は一通揃っている。J.A.D.P. の協力が終結する 1979 年 11 月までは充実が行われる見込み。

(2) 隊員の業務内容: 同農場運営及び業務に関する全責任を負うネパール人農場長を助け、協力隊員は農場運営業務の実務につとむと共に、ネパール人農業機械オペレーター, J.T.A. (ネパール農業者農業技官補) を指導する。なお、同農場配置の日本人専門家は農場運営業務についてネパール人農場長と協力隊員に助言しながら同農場の健全な農場運営に努力することになる。

(ネパール農業開発計画) 第 3 次調査報告書, 第 4 次実施設計, 昭和 47 年 3 月, O.T.C.A. 刊行あり。

- ① 隊員の業務上の地位: 隊員、技術程度に相対的効果も異なるが、一応 GAZETTED III CLASS OFFICER とする。
- ② 技術の範囲 (A) inner tarai 地方を対象とした稲、小麦、トウモロコシ、トリ( ), ジャガイロ、大豆類
- ③ 業務の形態 (B) 改良栽培技術の導入及び展示栽培 (C) 種子生産 (上記各作物の) (D) 周辺農家の普及
- ④ 対象者及びノウハウの技術水準 予歴及び経: 現在、大泉隊員(穀物栽培)が 1977 年 11 月より、シドリ農場出張のため日本人スタッフとしての責任者はおらず、西村専門家の指導により、農場長はじめとするネパール人スタッフによる穀物栽培は行われている。隊員の業務は、自雇労働者と合わせた、以上の複数のネパール人スタッフに対する指導であり、1 対 1 のノウハウは居ないものの考え方がよい。(農場スタッフ名簿別添参照)
- ⑤ 現地に利用出来る機械: 農機具類は日本製のものが揃っている。
- ⑥ 現場における日本人の配置状況: 西村美彦(1978 年 3 月迄)、大泉泰雅(穀物栽培)(1977 年 8 月迄)、寺田好男(野菜栽培)(1978 年 8 月迄)、佐藤素子(農業機械)(1979 年 2 月迄)
- ⑦ 使用言語: ネパール語、専門用語は英語を知らなければならない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
ラプティ模範農場は近い将来 CHITWAN 地区の交通路が整備され、同地区の灌漑計画が完成されるならば、Tarai 地方における交通の要所となるばかりでなく、ラプティ農業大学、政府農場と有るネパール農業の一大中心地となり得る地区にあり、ネパール政府は同農場の重要性を認識し、改良栽培技術の導入、展示、普及に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
○ 農業技術系コース 短大卒以上の学歴を有し、実務経験 2~3 年以上の者。  
特に、稲、小麦、トウモロコシ、大豆、落花生と主作: 野菜栽培については知識と有る者が望ましい。更に普及員の経験があれば申し分ない。

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和52年4月8日

調査者氏名 神谷弘司  
菅沢成光

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Horticulture (Vegetable) (日本語) 園芸作物(野菜)-D(2)	(男) / 人 (女) / 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 昭和53年2月 受入期限 53年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Rizal National Agricultural School  
(日本語): リザル国立農業学校

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)  
所在地: Sampaloe, Tanay, Rizal 主要都市からの距離 (マニラより60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: この農業学校は2年制カレッジ部門と4年制高校部門に分け  
る。農業系職の学科は一般全部にわたる。水田 0.6ha 畑 5a ほど、水田は  
乾季には畑として利用され、乾季には水田として利用することも可能。カレッジ生徒  
ニ. 設備概要: 100名、高校生徒 400名。日本製ソーラー各種冷蔵庫、7D, 30V 等の器具、  
人口散布機、スツングラ一十数個、また DSSD に隊員が導入した肥料機、草刈機等あり。

(2) 隊員の業務内容:

隊員はシの中で高校部門を担当し、主に V-T-V 方式の運営に教師及び生徒への  
技術指導が中心。

- ① 業務上の地位: 農業技術者としての教師の Co-worker.
- ② 技術の範囲: 野菜一般の栽培。特にこの学校がリザル国立の seed production Center  
として重要な採種も必要となる。
- ③ 業務の形態: 教師の力加減による下での野菜指導であり、指導の教師、技術員、生徒  
等、その場合によりは現地農家の普及も含まれる。
- ④ 対象者及びそのレベル: 技術水準は、卒業生に準ずる。  
生徒は約 15~18才。カレッジ部門は専攻3才。農業高技卒で  
技術は教師ほどではないが、それ以上が理論的知識に多少ある。  
一方教師は大学で学んだ実践的技術程度は低い。
- ⑤ 母国人の業務内容: 無し。
- ⑥ 使用言語: 高校生徒は主にタガログ語。  
教師及びカレッジ部門は英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

菅沢隊員 (49/2 後期、野菜) が本人の経験から特に直接、接触して海外で  
何かの貢献が非常に高く、その交替要請のため。高校で Rizal National Agricultural School  
のプロジェクトの経験を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 採種に精通していること。② 農業機械の修理が出来ること (DSSD に日本の機械が大量にあること)
- ③ 英語はカレッジ部門のクラスを履修しているか、または大学レベルの英語が出来ること。
- ④ 実務経験、高卒、大卒の経験 2~3年が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和53年4月10日

調査者氏名 神谷弘司  
江橋信夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物(野菜、稲) - A	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Office of the Governon Davao Oriental (Mati)  
(日本語): マティオリエンタル州

ロ. 隊員勤務先名称: \_\_\_\_\_ 日本語名称 ( \_\_\_\_\_ )  
所在地: Lupon, Davao Oriental 主要都市からの距離 (マティより30キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

現在、野菜栽培技術普及並に稲作技術指導が行われている。  
野菜栽培農家 28戸、稲作農家 5戸。

ニ. 設備概要: 特になし。

(2) 隊員の業務内容: オフィス業務に無関係な Extension を中心として広範囲な栽培農家の巡回指導をする。地域も各地域に散在し、東西100km、南北40kmの楕円形内の普及であり、この形内の指導農家も今後増大する見込みである。

- ① 隊員の業務上の地位: テクニシャン。
- ② 業務の範囲: 各種野菜栽培から稲作まで、必要に応じて食用作物の栽培指導も行なわなければならない。
- ③ 業務の形態: 完全な extension work であるが、各農家の技術も向上し、統一化しているため、より高度の知識を導入しなければならない。
- ④ 対象者及びターゲットの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は上記農家。対象者は上記農家。
- ⑤ 現地に利用可能な機械: 特になし。
- ⑥ 現場に於ける外国人及び日本専門家への配置状況: なし。
- ⑦ 使用する言語: オフィスへの毎月1回のレポート等は英語であるが、普及活動をする際にはセブアノ語を使用する。セブアノ語をマスターすることは活動の大前提になる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 江橋信夫隊員(50%前助組)野菜へ交替申請。  
マティオリエンタル州のルポン地域の農家一本立ちが期待されている。併せて当地域及び周辺への安定した野菜の供給が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 野菜栽培技術と稲作技術とを併せもっていること。
- ② 学歴は向わないが経験年数3年以上。
- ③ 赴任時年齢 24才以上。
- ④ 自動二輪車の免許証を有していること。

印

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和53年4月10日

調査者氏名 神谷弘司  
高橋 順二

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物(野菜類)-A, B	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Local Government and Community Development (DLGCD)
- (日本語): 地方自治開発省
- ロ. 隊員勤務先名称: DLGCD Provincial office
- 所在地: Tabuk, Kalinga - Apayao
- 日本語名称 (カリンガ: プラビンス事務所)
- 主要都市からの距離 (マニラより60キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 日本での自治省に似た、たまにはリージョン単位の仕事から、は  
バヤン(村)単位の仕事までいろいろ。
- ニ. 設備概要: 事務所1ヶ所、他に各町に1ヶ所持つ。

(2) 隊員の業務内容: 現在建設中のバヤン農業試験場への協力及びバヤン内の Extension work が中心。

- ① 隊員の業務上の地位: テクニシャン。
- ② 業務の範囲: 当農場内での野菜栽培の Demonstration と種子生産及びバヤン内の野菜栽培の Extension work が中心。副次的に稲作、果樹栽培の世話も行う。
- ③ 業務の形態: 上記と同じ。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年齢: 試験場内でのカウンターパートは BPE と BAE からの経験者野菜栽培1名づつを予定している。Extension worker の方はカウンターパートとして対象農家のみ。
- ⑤ 現地に利用できる機材: ハンドトラクター等。
- ⑥ 取場に於ける外国人等: なし。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 高橋順二=隊員(1/2 前期組野菜)の交替要請。  
国立農業試験場を軸としたバヤン内の野菜の供給(種子的に)にならざる協力  
が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 農業短大卒業以上のこと。 ② 農務経験3年以上。 ③ 母体時年齢25才以上。
- 4. 自動=運転免許証を有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52 年 11 月 18 日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディッシュ	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (B.V.S.)

(日本語): バングラディッシュ ボランティア サービス

ロ. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project 日本語名称 (ランポル農村開発計画)

所在地: 17カワル県ゴレンガジ郡ランポル村 主要都市からの距離 (コロンジャより50キロ)

ハ. 事業規模及び内容: B.V.S.は1971年設立以来通算約3000人の1日ボランティアと農村開発に従事してきた。本年度は300万バカ(約5千万円)の予算で現在150人の1日ボランティアを擁する。ランポル計画は1日平均6千バカ(約10万円)の予算で実施されている。

ニ. 設備概要: ランポルには5~6人宿泊可能なスペースと有る事務所がある。現在事務所・宿舎を建設中を計画している。

(2) 隊員の業務内容: 現在ランポルには各地の大学から8人、地元から6人のボランティアリストにはない休学中の学生が240家族に対して農村開発の一環として野菜栽培の普及に当たっている。隊員はB.V.S.メンバーを指導して、村内農民への普及活動を行う。

(1) 隊員の普及上の地位: B.V.S.メンバーの相談相手

(2) 技術の範囲: 直接の相手となる農民はB.V.S.メンバーの教育により文盲が減り、また半数以上は文盲であり、B.V.S.メンバーも日本語リストの中で基本的な知識・技術が十分と判断する。しかし果樹(含む)の幅広い知識・技術が必要とされる。

(3) 普及の形態: 農村に於ける普及活動

(4) 対象者のカテゴリー別の技術水準: カテゴリー別にはB.V.S.メンバーが休学中の大学生が主であり、B.V.S.メンバーが指導するレベルから技術水準は低い。

(5) 現地で利用可能な材料: 農民が所有する資材利用の伝統的な農具のみ。

(6) 取組に於ける従事者: 来年から1日ボランティア(主に1日ボランティア)からB.V.S.に20人派遣される計画があるが、1人はランポルに配置される可能性はある。

(7) 使用言語: ベンガル語(但し英語も時には必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: B.V.S.はこの活動が国際的に評価されている1日ボランティアの組織だが、当国では活動中、JOCV(在日)技術上のアドバイスを得る。又同じようにある日本からのボランティアと共同で農村開発を進めたいという期待がある。特筆すべきは高度な技術的知識日本下は想像不滅な厳しい条件の当国農村下、ボランティアになり得る人間性と若さを高く重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では過去の例のように特に厳に資格・条件は厳か、但し農民の心情を理解して厳しい生活環境に耐えらる(心身ともに健全)な青年であること。短大卒以上で実務経験1年以上が望ましい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 4 月 10 日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
バングラディシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 米 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Sugar and Food Industry Corporation, Ministry  
(日本語): of Industries 工業省 パングラディシュ糖食品工業公社

ロ. 隊員勤務先名称: Sugarcane Research Institute 日本語名称 (甘蔗研究所)  
所在地: ハジラ果園ビル302号 主要都市からの距離 (バジラ) 25キロ

ハ. 事業規模及び内容: 研究部門は甘蔗栽培、病害、肥料、昆虫と土壌肥料の5研究室に  
研究室18名、配属された他の事務部門は総務、会計、統計、図書、写真の各課を  
有し、全職員合計は40名、農場には約70町歩の耕作地を有し、農場長以下職員6名、

ニ. 設備概要: 前年度100町歩前後から本年17町歩、昨年からの研究所本館取壊し完了、新増築中  
で本年中に完成予定、農場には1町歩(10馬力)の灌漑地整備整備、ほかにも13町歩

(2) 隊員の業務内容: 稲作の技術指導と甘蔗栽培の技術指導、昭和50年から開始した  
ハジラ-107-7000-7 (甘蔗栽培) 前作は稲と糖と同一作物、小麦、菜種、右横野  
草類の7000-栽培) 計画を参考に特に稲作の技術指導と甘蔗栽培の技術指導  
の導入研究を予定。

- ① 業務上の地位: 甘蔗研究室の7000-7000-7
- ② 技術の範囲: 稲作と甘蔗栽培の技術指導と甘蔗栽培の技術指導
- ③ 業務の形態: 研究室での普及活動
- ④ 対象者及びその役割: 最終的な対象者は農民だが、研究員は当日では  
一流の技術水準はかなりの優秀である。
- ⑤ 現地下利用すべき材料: 上記設備概要通りで、不足の程度は完備している。
- ⑥ 農場に於ける村長の人: 本年5月才-7000-7000-7甘蔗専門家が4名、5名着任予定。
- ⑦ 使用する言語: ハジラ語を話し、研究所内では技術専門英語が必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 甘蔗の作期は12~17ヶ月と長いため、昭和50年の隊員  
により開始したハジラ-107-7000-7計画も又同様の甘蔗栽培が終了ばかりで  
試験、研究の最終的結論を待ち、7-7-7  
隊員入りの協力により新しい技術指導と稲作と甘蔗栽培の技術指導と甘蔗栽培の技術指導  
指導の技術指導が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本との教育制度の差及び社会通  
念により短大以上の学歴(卒業後1年以上)の業務経験と持っていること  
自動車又は自動二輪運転免許証が必要



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和52年 5月 7日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
パングラティシユ	(現地公用語) Horticulture	(男) / 人	訓練開始 52年 10月
	(日本語) 園芸	(女) 人	派遣予定 53年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限5)年3)月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management),  
(日本語): Ministry of Agriculture 農業省農業普及管理局
- ロ. 隊員勤務先名称: Sharps Agricultural Extension Training Institute 日本語名称 (シワール農業普及院養成所)  
所在地: 又シワール県シワール郡都市からの距離 (7.1)より170キロ
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及院と養成所を併設してあり。現在は1年生・2年生を合わせ約130名の生徒がいる。敷地内の全耕地面積は24エーカーで主に実習用として利用され、園芸実習には約1エーカー利用されている。
- ニ. 設備概要: 洋務所、教室、生徒寮、職員住宅等の地圃場用に耕耘機、洋耕戸ボーン、灌漑用水、自動噴霧器各1台がある。

**(2) 隊員の業務内容**

- 卒業後は農業改良普及院にいるべき生徒に対して、農学I、農学II、植物保護、農学機械、農業普及、園芸の6科目の授業を行っているがその中で、隊員は中史で作成された指導要領に基づき校長の指揮の下に園芸を担当し、ベンガル語で授業が下まると同時に日本語で主に実習を担当する。
- 1) 隊員の業務上の地位: 教官
  - 2) 技術の範囲: 野菜全般主にキャベツ、トマト、カリフラワー、ホウレンソウの栽培技術、又果樹(特に mango)の接木、挿木が出来るようになる。
  - 3) 業務の形態: 当初は週4回午前6時30分から午前9時30分迄行われ、園芸実習の技術指導が主となり、授業が可能な場合は午後又は時迄行われ、園芸の授業を担当する。
  - 4) 対象者およびカテゴリー: 生徒は高校・短大早程度で18才~20才の男子で、農作業、栽培実務経験は全人ともない。カテゴリーは大学・大学院卒の30才~40才で経験は多少程度持っているが実習では圃場へ入り込む人が多。
  - 5) 現地で利用している材料: 上記設備概要と同じ
  - 6) 職場に於ける仲間の人等: 同じ勤務先で協力隊補佐隊員
  - 7) 使用対言語: 生徒とは全てベンガル語、校長・教官等には英語も必要

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待**

シワール AETI には昭和49年10月以来隊員が派遣されているが、徐々に隊員が必要不可欠の立場にたつてきている。中史では圃場へ入り込む教官の意識改革の側面を期待し、勤務先では養成所のキチンな運営に期待も大きい。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)**

日本での教育制度の若干の違いから、短大以上の農学部を卒業し、卒業後(1年以上)の社会経験、園芸作物栽培の実務経験を積んでいることが必要で、教育に反対するに抵抗のある人および農業改良普及院の施設を持っていない人は応募不可。



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 51 年 7 月 31 日  
ネパール 国 調整員  
調査者氏名 木内 志郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 昭和 51 年 12 月
	Agriculture (in General)	(女) 人	派遣予定 昭和 52 年 2 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 52 年 2 月迄に現地到着のこと
農業一般			

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): Home Panchayat Ministry

(日本語): 自右 パンチャヤト省

ロ. 隊員勤務先名称: Jhapa Panchayat Development

日本語名称 (ジャパパンチャヤト開発訓練所)

Training Centre

Bhadra

所在地: Jhapa, Mechi Zone.

主要都市からの距離 (pur より約 4 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 職員数: 総員 64 名 内訳: Principal-1, Senior Instructors-4,

Instructors-7, Senior Accountant-1, Administrative Staffs-19,

Junior Technical Assistant-1, Pions or Field Men-31. 年予算: 1975-76: Rs. 937,000 (約 2248 万円)

ニ. 設備概要: 農場面積約 25 ha (内 70% のみ現在利用中). 事務室 1, 職員室 2, 教室 3, 講堂 1, 図書室 1, 来賓宿舎 1, 職員宿舎 10, 訓練生宿舎 3 棟 (150~200 名収容), 倉庫 2.

**(2) 隊員の業務内容:**

農村指導者育成の訓練学校に 2 一般作物 (稲, 麦, トウモロコシ, ヒエ), 果樹, 養鶏, 畜産, 蔬菜 などのデモンストレーションを同校付属農場に 2 行いと共に, 農業技術の基礎的な講義も行いことになる。

他に, 時間的余裕があれば同校卒業生の農村を訪問し Village Panchayat 等の農業プロジェクトに対する相談業務 (官農指導サービス) の行いことになる。

① 業務上の地位: Agriculture Instructor として配属される。

② 技術の範囲: 農業全般に 7112 理論 (基礎的な) 及び実務に亘る広い知識が必要とされる。

③ 業務の形態: 理論面 … 農業関係講座担当 (農業技術の基礎, 簡単な実験など)  
実技面 … 圃場管理, 訓練生に対する現場実習指導, カンタパートに対する

アドバイス, 及び他の農業プロジェクトに対する官農指導 etc.

なお, 他に同校にある約 25 ha の圃場をいかに利用したりネパール農村指導者にとり最も有意義なデモンストレーションを行えるか計画, 立案, 実行する。

④ 対象者及びカンタパートの技術水準・学歴及び年齢: 訓練生 (平均年齢 25 歳) の多くは 10 年制の教育を終えているがその基礎学力及び技術水準は非常に低い。従って, 講義より視覚教育 (実技) のための農場を整備するということが必要となる。一方カンタパート (36 名) はネパールの農業短大を卒業した J.T. (Junior Technician) と Agriculture Instructor の地位にある。ババに 15 年の留学経験があり 1976 年 7 月からは高知

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:**

農受入研修生として渡日中である。非常に浅い知識ではあるが農業全般に 7112 良く知っているが, 7112 知識の応用が出来ない。  
⑤ 訓練生機械: 7112 キロ足踏脱穀機, スプレ-等。  
⑥ 外国人及び欧米専門家との配属はない。⑦ 使用言語はネパール語  
ある。巧みである。ネパール農民的な土地所有形態である。従って, ネパール農民が小規模土地に対する集約農法を知ることが出来ればネパール農民にとって大変有益なことである。

農受入研修生として渡日中である。非常に浅い知識ではあるが農業全般に 7112 良く知っているが, 7112 知識の応用が出来ない。  
⑤ 訓練生機械: 7112 キロ足踏脱穀機, スプレ-等。  
⑥ 外国人及び欧米専門家との配属はない。⑦ 使用言語はネパール語  
ある。巧みである。ネパール農民的な土地所有形態である。従って, ネパール農民が小規模土地に対する集約農法を知ることが出来ればネパール農民にとって大変有益なことである。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

農学部卒業程度の知識があり, 実技経験多し程よい。

かなりの技量は日本人のみから聞かざるに出来る。以上が JOCV 上を請け主たる意図であり期待である。

○農業改良職員又は官農指導員, 経験の年程度  
他に資格は多い程良い。特に生物系の教員資格あれば更に良い。26 歳未満。

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 51年 4月 8日

10302 野 菜

調査者氏名 吉川 浩史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サエド	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 51年 10月
	VEGETABLE CROPS RESEARCH	(女) 人	派遣予定 52年2月又4月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 52年 4月迄に現地到着のこと
野菜栽培			

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT OF AGRICULTURE

(日本語): 農業者

(アラブアルビア)

ロ. 隊員勤務先名称: SOUTH PACIFIC REGIONAL COLLEGE OF TROPICAL AGRICULTURE  
所在地: APIA

日本語名称 (南太平洋地域大学農学部)  
主要都市からの距離 (セビヤ 3キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1966年に「Freedom from Hunger」の一環としてFAOの全面的な援助に拠り立って、3年制、全寮制、生徒数81名、出身国はサエド、トカ、トケラウ、タリ、アレン、フィン、ラト、カ、キルト、エ、ス等である。南太平洋の農業大学の中核である。  
ニ. 設備概要: 前任隊員元顧客の機械として又FAOからの機械材料あり。元顧客の送る種々の下型トコク一等は全て故障している。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は大学の講義を受講する。場合が好む人として、先ず実習で直接接する地栽培、試験がその中心と成り、しかし、この学校で得たデータ等を基に今後農業者普及に必要となるような資料を準備して普及活動を行うこととしている。

① 隊員の業務上の地位: SMOL CROPSの試験栽培の責任者として活動する。SMOL CROPSの全体の責任者はアシスタントの役割を担う。

② 業務の形態: 毎週土曜日を農場内のフィールド調査、試験栽培。

③ 派遣者の技術水準: 学業の技術水準は低い。SMOL CROPSのスタッフは毎年JICAの研修に行っており、又他の若手はFAOの研修に行っている。このため、水準は高くないが、研修を受ける必要がある。

④ 利用出来る機械: トラクター、その他、前任隊員の持ち込んだもの、他、学校にある機械類はほとんどが故障しているものが多くある。

⑤ 農場に於ける人数: 校長、副校長、本隊員の所属するSMOL CROPSの責任者以外、10名以上のスタッフはFAOの専門家等外国人である。

⑥ 使用言語: 英語、及びサエド語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 前任隊員が残した業績を引き継いで試験栽培を通じてサエドの野菜栽培の技術、動植物の選出等を行うことと期待されている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

◎ 農学系、大学農学部卒業後、1年以上の経験がある。栽培試験等を行いデータ集める能力があること。女性でも可。サエド語が話せること。





# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入 昭和 52 年 5 月 9 日

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バンラティシユ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 52 年 10 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 53 年 2 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 53 年 3 月迄に現地到着のこと	

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語) *Directorate of Agriculture (Extension & Management)*  
(日本語) : *Ministry of Agriculture* 農業特産普及管理局
- ロ. 隊員勤務先名称 : *Shanper Agriculture Extension Train* - 日本語名称 (シリアル農業普及養成所)  
所在地 : *ing Institute* (シリアル) 主要都市からの距離 (ムカより 170 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容 : 農業改良普及を養成研修所である。現在は 1 年 4、2 年 4 年合計で約 130 名が在籍している。敷地内、合計耕地面積は 24 エーカーで主に実習用として利用されている。
- ニ. 設備概要 : 中筋の教室、宿舎、水風呂、浴場等の他に圃場用として耕松機、追肥機、噴霧器等の機械器具を備えている。

**(2) 隊員の業務内容**

- 1) 隊員の業務内容 : 研修所は農業改良普及に力を入れるべき生徒に対して、農学Ⅰ、農学Ⅱ、作物生産、農業機械、農業普及、園芸の6教科の授業を行う。3ヵ月間の研修は中筋の研修所から指導員、校長の指揮の下に農業機械を担当し、シリアルに渡り授業が出来るようにするには主に実習を担当する。
- 2) 隊員の業務上の地位 : 教官
- 3) 技術の範囲 : 農業機械が研修所で行われることと設備概要に記載されている大型化、近代化の農業機械の理論と技術指導、研修所からの改良、実習には測量も含む研修所の研修課程の測量、測量技術のあり方等である。
- 4) 業務の形態 : 当初は朝(時 8:00 から)9時30分迄行われ、実習時間、耕松機、水灌漑の運転方法、構造、分解と組み立て測量等と担当し、授業が可能な程度まで午前中から午後まで行われ、農業機械の授業を担当する。
- 5) 対象者の年齢・性別・レベル : 生徒は 18 歳 ~ 20 歳 男子が 70% 農業について知識はあつたが、経験は全くない。カリキュラムは大学、大学院卒の 30 ~ 40 歳。
- 6) 現地で利用する材料 : 上記設備概要と同じ
- 7) 現場の人手 : 同じ勤務先に協力隊員 1 名、研修所員 1 名
- 8) 使用言語 : 研修所は全てシリアル語、校長、教官とは英語が必要

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待**

シリアルは農業に力を入れている。最近のシリアルは農業の発展が必要不可欠な立場にあり、研修所の授業は当国人が教えるよりも、研修所員が教えることの方が、より効果的であると期待されている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)**

日本での教育制度が若干の違ひから、研修所員以上の農業経験を有し、(1年以上)の実務経験を有していることが必要である。研修所員に教えることへの抵抗を感じない人。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和52年11月24日

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	農業機械(農具改良)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Bangladesh Volunteer Service (B.V.S.)*

(日本語): *バングラディシュ ボランティア サービス*

ロ. 隊員勤務先名称: *Rampur Village Development Project* 日本語名称 (ランプール農村開発計画)

所在地: *1701線バングラディシュラール村* 主要都市からの距離 (コミナより50キロ)

ハ. 事業規模及び内容: B.V.S.は1971年設立以来、通算約3000人の国内ボランティアを農村開発等に従事させ、本年度は30万7カ(約5千19)の予算で現在150人の国内ボランティアを派遣。ラール村計画は19年約6千7カ(約10万19)の予算で実施され、

ニ. 設備概要: 勤務先には5~6人宿内兼付バスと有る事務所があるが、現在事務所、倉庫を改築することと計画。

(2) 隊員の業務内容: 現在勤務先には各地の大学から8人、地元から6人のボランティアで、休みの休学中の学生が1学期1年間の予定で240家族に17農村開発の一環として農村の改良普及に当ることが、隊員はB.V.S.メンバーを指導して村内農民への普及のための役に当る。

(1) 隊員の業務上の地位: B.V.S.メンバーと相談相手

(2) 技術の範囲: 食糧作物の農民の標準的農具として、鋤、鍬、均平機、草刈機、除草機、トラクタースタンプ等には所有する者が少ない(とり初力使用の農具はほとんどなく)人口、畜力利用の農具も研究改良、製作でまると。

(3) 業務の形態: 農村に於ける普及活動

(4) 村域前・カウチン・パートの技術水準: カウチン・パートはB.V.S.メンバーが、休学中の大學生が主であり、そのB.V.S.メンバーが半数以上は文盲の農民に指導しているため、技術水準は非常に低い。

(5) 現地で利用できた材料: 食糧作物の普及と村の鍛冶屋の技術

(6) 職場に於ける村の人口: 去年から1町連ボランティア(主にラールの開発金上り)からB.V.S.に20人程度派遣された計画があり、1人がラールに配置された可能性もある。

(7) 使用した言語: ベンガル語(但し英語も時々必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: B.V.S.はその活動が実際的に評価されている国内ボランティアの組織で、国内で活動中のJICAをとり技術上のアドバイスを得意。又同じボランティアとして日本からのボランティアも共同で農村開発を進めたいという期待がある。指導力や高度な技術は日本では想像不能な厳しい条件下、国内農村指導のボランティアに期待する人材と若くして重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では地元の若年ニアンズを要しているが、(体力)食糧、農民の生活と理解して厳しい生活環境に耐えられる(心身ともに健全)であることが必要とされる。短大卒以上で実務経験1年以上を望む。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 50年 8月 7日

在バングラデシ駐在員  
調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣先
バングラデシュ	(現地公用語) Farm Machinery (日本語) 農業機械	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	藤健定 訓練開始 年 月 派遣予定 57年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation, Ministry of Agriculture, 農業省, 農業開発公社 (BADC)
- ロ. 隊員勤務先名称: Dattanagar Seed Multiplication Farm (現地名称: ダッタナガール種子増殖農場)
- 所在地: Dattanagar, Jessore Dist. (主要都市からの距離 Jessore より約 10km)
- ハ. 事業規模及び内容: BADCは高収量品種の増産, 農民に対する各種優良品種の供給, 肥料, 農薬, トラクタ等農業用機械の改良, 技術指導, 農業協同組合の組織化, 育成等の業務を行い, 全国48箇所と21の種子増殖のための農場を運営している。
- ニ. 設備概要: S.M. Farmは約100~600エーカーの自己所有耕地に種子増産を行うととる。周辺の登録農家の技術指導と種子買付けを行う。Dattanagar S.M. Farmは最大

(2) 隊員の業務内容:

- 1) S.M. Farmは農業公社の4事業部門のうちの1つである農場部門の種子増産の米, 小麦, 豆, 芥子, 野菜等主要作物の各種の増産を行う。隊員は新卒として農業機械の専門教師として農場スタッフの技術的指導を行う。
- 2) 技術範囲: Dattanagar S.M. Farmに配属される同農場と数ヶ所にあるS.M. Farm
- 3) 業務形態: 主に農業機械の操作, 維持補修技術を指導。又 S.M. Farmの整備場設置に協力。
- 4) 指導対象と指導系統は右のとおり。  
所長 (Additional manager)  
Chief Superintendent  
Farm Superintendent  
Foreman Mechanic Agri. Overseers  
Mechanic  
Driver
- 5) 使用対象農機具 ①中型トラクタ (40~60Hp) ② Deep tubewell ③ Lowlift pump ④ Sprayers ⑤ Thresher ⑥ Drier ⑦ Workshop
- 6) 現在 BADCの田舎, 貧民団地 (Kashimpur or Patia) が動員して他の外国教師は受け入れられていない。
- 7) 1ヶ所の指導網を築くとす。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

49年度以降隊員2名はBADCに受け入れられ、西隊員は実績評価により7名を要請がBADCから出された。当農場は初年度隊員派遣要請が出たところであり又農業機械部門も要請がBADCに初めてあり、協力活動の波及効果は大きいと思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 単大卒程度
- ② 農業機械整備士習得 2級と有ることが好ましい
- ③ 実務経験: 3年以上, 農場職員としての実践的指導が重要な任務あり, 組織体の動員についての認識と有ることが必須である。そのためには本人の日本の社会経験は20歳



日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 52年 / 月 24日

調査者氏名 小堀 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
7:タイ	(現地公用語) Intermediate Technology (日本語) 農機具製作	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 5月4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 配属先名称 (現地公用語): Munpower Development Div. Min of Agriculture.  
(日本語): 農業者人材開発局
- 隊員勤務先名称: Min of Agriculture Training Institute (日本語名称: 農業専門学校)  
所在地: Muingano (Tangay) 主要都市からの距離 (シガタリ 35 キロ)
- 事業規模及び内容: Agri-Mechanization & Farm Management の 2 学科を有する Diploma 課程の学校 (2 年制 時の農業短大相当)。専門普及員の養成機関としての役割を担っており、生徒数は両学科共に 1 学年 4 名、教師数は 15 名。
- 設備概要: 教室、研究室、Workshop 等、建物関係は完備されているが、教材、図書、Workshop 設備は、徐々に供給されつつあるが、不完全。

(2) 隊員の業務内容

- Agri-Mechanization 課程の生徒に対し各種農機具 (エンジン等) の修理 (使用) の設計、製作を指導する。又各種小農機具の導入、現地の小農機具の改良等を行い、現地の耕作に資する農機具を開発する。
- 生徒指導等、教員育成等を行う。
  - Uyamaan 村等、現地の普及活動、指導等、即ち不可能な人材養成に即ち男子 2、3 名の Diploma 課程の生徒を専門に指導し、内高給の奨励、一方教師不足に 1、2 名の Workshop Technology 関係の指導と研修の必要性あり。各種工作機械の構造、保守、操作、修理、及び活字、木工技術が要求される。
  - 担当教科の指導と単独で行う。Workshop 9 農機具指導が主体である。
  - Workshop 管理、研修等、In 290 名の 1、2 年制養成に 1、2 名を専任とする。
  - 現地の農業に資する Workshop 設備は、不完全。調査時、現地の電気設備は、大型施設、実習用、トラクター、程度あり。小農具、製作は現地の牛車、履帯、2、3 種あり。
  - 1、2 年制 (Agri-Mechanization 学科) の 1、2 名、近い将来、外国人専門家を 3、4 名程度に増やすこと。
  - 現地の耕作指導に資する英語の指導を行う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

タイの農業は太古以来の原始的な耕作による農業と、1977 年以降は大型機械化農業が同様にあり、中間に位置する技術的農業がタイにあり、現地の耕作に資する農機具の普及、政府は農民の自己責任の管理を推進し、現下、牛車、普及に力を入れているが、現地の牛車以外に、エンジン等、を使用している各種農機具が、普及しているが、農機具の普及、多量に受入可能。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

- ① 農業機械の製作、修理、保守、等に関する知識、経験、技術、等、日本語、英語、等、を有すること。
- ② 現地の農業に資する英語の指導に 25 名以上、英語、等、を有すること。
- ③ 現地の耕作に資する英語の指導に 25 名以上、英語、等、を有すること。



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 51年 10月 20日

調査者氏名 小嶋 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
7-2-P	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 52年 4 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 52年 8 月
	(日英)	(どちらでも可) 人	受入期限 52年10月迄に現地到着のこと
	(現地公用語)		

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Div. Min. of Agriculture  
 (日本語): 農業者人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Min. of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)  
 所在地: Mlingano (Tanga) 主要都市からの距離 22kmより40km

ハ. 事業規模及び内容: Agro-Mechanization, Farm Management 2学科のDiploma  
 課程(2年制)農業専門学校(専任職員、養成機関)あり。本年6月開校、生徒数約100名、教員数15名。

ニ. 設備概要: 教室、実習室、Workshop等、建物は完備しているが教材、図書、Workshop設備は除々に供給しているが不完全。

(2) 隊員の業務内容: Agro-Mechanization 学科の主要教科は farm power, Farm-Machinery, workshop technology 各教科を分担して教える。農業機械化、電化に関する全分野にわたるその理論と応用を教えるが、実地教育に重点を置く。別紙シラバス参照

- ① 教科担当教師は3名派遣される。
- ② 現場の普及活動に即対応出来る人材を養成し、その職を置いてDiploma課程と見ても専門に加工した内容は部分的に、自動車の構造及び整備技術に重点を項目とする。教師が不足しているから担当教科以外に何れも「製図、測量、数学」という教科の指導を依頼する可能性は高い。
- ③ 担当教科の指導(実習含む)を専任で行う。
- ④ カリキュラムは期待出来る。教科担当は全入学者を占められる。生徒は小学校7年 Secondary School 4年 農業のCertificate課程2年を修了した者、Sec. School 6年の修了者又は Sec. School 農業のCertificate課程修了後、国家機関や国家農場に勤務し、職場の推薦により入学した者等区々である。年齢20-25才。
- ⑤ 近い将来、充実に必要とされるが、調査時点では、トランナー程度。
- ⑥ 1人専門員 (Agro-Mechanization 学科主任) 1名のみ、増員増員は見込み。
- ⑦ 英語、数学の授業は全て英語で行う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業者は各ウツマ村、国家農場に専任の普及員を配置する意欲的な教育計画を策定し、財源の段階に入るとは、Diploma課程はこの目的にむけて専門的普及員を養成し、協定隊員に代わってこのため教育訓練の分野で専門員を必要とする。これは過去の農業隊員の実績を踏まえ、この協力申請があり、これに必要なのは協力隊員に、専門員を養成するものと確信する。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記すること):  
 ① 大学卒業生 (農業機械を専攻した者) ② 英語 ③ 実習経験者  
 以下は希望条件: 年齢25才以上、専任機械の指導、講義、実習、(英語)と農業機械に関する知識を必要とする。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

132 養 鶏

記入昭和 51年 10月 15日

調査者氏名 赤 星 則 昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
サントメ	(現地公用語) Poultry Farming	(男) 1人	訓練開始 52年 女 月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人	派遣予定 52年 8~10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Rural Development, Dept. of Agriculture  
(日本語): 地域開発省 農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Poultry Unit, Dept. of Agriculture. 日本語名称 (農業局 子バツ. マニサ 鶏舎) 所在地: マニサ, マニサ. 主要都市からの距離 マニサより 660 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 現在 Katapodi Farm Institute における Animal Husbandry Section には 鶏 380羽, 豚 24羽, 牛 55頭, 山羊 25頭, 52年 55羽の鶏. これは一つの野球場位の広さがあり, かなりの収容が可能である.

ニ. 設備概要: 電気の設備がなく, 水も自給設備とではない. 又 Hatchery (5000卵) と Hatcher (12500卵) は 20km 程離れた所におり, 建設中で 2-3年後に完成する予定の Project の1号.

(2) 隊員の業務内容: 隊員は Katapodi Farm Institute Animal Husbandry Section に配属の予定. 現在 2-3年後完成予定の建設中であるが, 3.化場は 1/2 出来ていない. 従って, 現在の業務は, 1日のホーターや, 11カカカ 週2回, 日平均 3-4000羽送られてくるのを養育, 飼育, 繁殖が主な仕事. この養育は Landaji, Charma (共に 20km 以上) に建てられた dit house であるが, 楽ではない. 地域内の農家は, 約 200戸で, これらの面倒と 3.化場建設に際しては, 工事の指揮を命じられる.

- ① 隊員としての地位: Assistant Poultry Officer として, 3.化場が出来た時は, 場長兼務.
- ② 技術の範囲: 現在の飼育法, 鶏舎建設の知識. 3.化場完成時には, 産卵機等の知識が必要.
- ③ 対象となるカテゴリー: 現在は ココラス 2人 1人でやっている. あとは 35才-40才の方が多い.
- ④ 業務の形態: 上記③(1)ともない officer の助けと, 共に業務を推進させる.
- ⑤ 現地で利用する材料: Poultry officer は, 材料持込が必要と言っているが, ない.
- ⑥ 隊員個人の専門知識: officer である ココラス 2人の.
- ⑦ 使用言語: 英語, ニコニ語

農家を巡回中に, 家畜等がいらない場合, 英語が通じないことがある. この時, 簡単なニコニ語が必要. 例えば officer は, 4年前 マニサで働いていたが, 英語が 9割の時, ニコニ語で指示している. 各詞程度で, 互に, 赴任後, 勉強可能.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
3.化場建設計画に参加することは, 当然であるが, 隊員は, それぞれの農家を巡回し, 適切な飼育指導を行うと同時に, この地方の養鶏業全般を行うことが, 予期される. 期待は, 非常に大きい.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
\* 現在の飼育法を知っている事. 現場経験 2-3年 程度が必要. カコラス 2人に, 恒久的知識が必要. 運転免許は必須.



日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51年 10月 15日

150 食品加工

調査者氏名 平沢昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
7/11/10 共和国	(現地公用語) Food Processing (日本語) 食品加工	(男) 1人 (女) 人 どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 5/年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Office of the Governor, Misami's Occidental  
(日本語): ミサミズオキシテニタル州 知事室
- ロ. 隊員勤務先名称: Office of the Governor, Mis. Oce. 日本語名称 (上 記)  
所在地: Croquieta City, Misami's Oce. 主要都市からの距離 (約) 50キロ
- ハ. 事業規模及び内容: ミサミズ・オキシテニタル州は大統領夫人におき出さし Project Compassion の対象のみに指定され、州の開発に積極的である。州独自のプロジェクトとして、食品加工のほか、農業振興政策も手掛けている。
- ニ. 設備概要: 食品加工プロジェクトは51年8月の始まるはかりであり、初年度は12月の予算で200000Vが支出され、経費用に予備費も含めて150000Vが計上されている。

(2) 隊員の業務内容

ミサミズ・オキシテニタル州は、特にこの山岳部において野菜の生産が盛んであり、反面海水面からはイカの漁獲が多い。州内で消費しきれない野菜(トマト、豆類ほか)を加工し、また、海産物からくん製、テンポなどの加工品を作り、州外へ販売する手配をやること隊員の業務となる。現在、花村進一隊員(49才、農産物加工)がやる加工の試験を行っているが、新隊員もこの試験と比国人に対する嗜好テストを行ないながら、量産体制にもっていくことになるであろう。

- ① 隊員の業務上の地位: 知事直属の技師。
- ② 技術の範囲: 野菜ピッケル、豆類、7ラツゴ、果実類の保存加工、水産物の加工(缶詰、カマゴ等)、テンポ(くん製など)の加工品。州ではコナツの水を利用して酒を製造する試験を行っている。
- ③ 業務の形態: 当面は農産物、水産物の加工実験、開発試験を行ない、その間マーケット、アンケート調査、嗜好調査を行なうことになる。
- ④ 研修レポート等の技術水準・学歴及び年齢: 2人のうち一人は33才女性大卒、もう一人は30才女性(5才でマツシロの栽培を担当している)。
- ⑤ 利用する機材: 花村隊員におき揃っているもので、試験に使う機材は一通りある。
- ⑥ 専門家等: なし。 ⑦ 使用する言語: 英語、ヒカヤ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

花村進一隊員の交替要請。生産過剰味の農産物と水産物の加工と州外移出については知事が積極的に考えていることで、強い要請がある。ミサミズオキシテニタル州に配置されている花村隊員は51年8月に移動させられるものである。将来は加工業をオキニツ周辺での家内工業にまで育て上げる目標を掲げているが、次期隊員の代りにまで進めるのかは今のところ明らかではない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

大学の食品製造科又は農芸化学等を卒業し、食品加工全般について浅くも広い知識を有すること。これは1~2年の研究室勤務経験が欲しい。また、花村現隊員は日本大学農獣医学部農芸化学科卒業、研究室勤務1年、日常会話程度の英語が出来ること。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52 年 5 月 日

160 森林経営

調査者氏名 花田 真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
EL SALVADOR (エルサルバドル)	(現地公用語) SILVICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 植林学(植林森林保護) (D-1.2)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 52年2~4月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION (DIRECCION DE EDUCACION MEDIA Y SUPERIOR)

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE TEJUTLA  
(日本語): 国立テフウ高校

ロ. 隊員勤務先名称: GRANJA DEL INSTITUTO 日本語名称 (国立テフウ高校)  
所在地: チャウテナンゴ州 テフウ市 主要都市からの距離 (首都より 60 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1976年2月に開校された高校で普通科コースに林業学と養鶏学の2教科の専門コースを組合せて特殊な形態を持つ。附属農場は57ア(1.2ヘクタール=2000㎡)で、学生数は1学年約80名、2学年約30名である。現在、養鶏450羽、小規模なブドウ園及びヤシの拡大、鶏舎の増設を行っている。又農場用地の20%を購入予定。  
ニ. 設備概要: 小規模の農場で又急斜面に位置し、利用がむづかしい。現在は鶏舎、事務所兼倉庫各一棟だけで、農具等も不十分である。簡易なポンプ設備が壊れておらず、水は不足している。学校には立派な校舎、実験室がある。

(2) 隊員の業務内容: 普通科高校の中に農業教科である林業と養鶏学の2部門の専門コースを折り込んで特殊な学校である。隊員は農場において植林に関する実習と学生に指導するから、農場全体の植林計画にあたる。農業関係の教師は2人、その他助手が1人いる。農場は地形的な悪条件が多く、灌木ばかり、ハエムシといった害虫であり、植林することにより、これをうまく利用することを隊員に強く期待しており、植林の模範農場にすることを計画している。

- ① 隊員の業務上の地位: 国立テフウ高校付植林学技術指導者。
- ② 技術の範囲: 植林、森林保護に関する知識及び、実際面での技術を必要とし、特に熱帯植林に関する知識が重要である。
- ③ 業務の形態: 学生を対象に植林に関する技術指導と農場実習を通じて行う。業務時間は、資格授業にもついで、他に何らかの夏期休暇から2~3ヶ月と長いので、この間はボランティアによる植林の保護に力を入れることになっている。
- ④ 対象者及びカウチャーパートの技術水準、学歴、年齢: 対象者は16~20歳の高校生、12.3年生であり、カウチャーパートは、農業専門学校の教師か同等の十分な知識レベルが要求される。
- ⑤ 現地に利用出来る機材: 当国には、かなりの農業関係道具取扱の店があり、現地購入可能であるが、特殊な機器(測量用具、特殊肥料等)は携行の必要がある。農場には、クワ、シャベル、ツチ及び噴霧器程度が備わっている。
- ⑥ 現場における3回人及び、日本専門家の配置状況: 一時、アメリカの平和部隊が協力活動しているが、現在のところ他国の技術者はいない。
- ⑦ 使用言語: スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 雨季と乾季の交差する気候条件の悪、無気地帯が多く、特に当国北部地域は、石、礫山が多く、農業の利用度が低い。郊外当局としては、この地域に位置する当学校の農場の植林を計画しているが、前述の気候条件、地理的条件等種々の問題があり、かつ教師の技術レベルが低い点、問題を打開できず計画が終了している。隊員による植林に関する技術指導ととも、農場の植林計画を構想している。又当国の一部高地には原生林があり、こうした地域での実習訓練及び、特定の演習林地域を文部省独自で管理できるのを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
大学卒で林学を専攻し、1~2年の経験を有する者。特に熱帯植林に関する知識を有する者。ある程度植林の土壌改良ができること。教師として学生に技術指導を行わなければならない。このための能力を要求される。仕事に堅実な責任感のある人物である事。年齢 24才以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

16003 生態調査

記入昭和 53 年 3 月 18 日

調査者氏名 山口 慶治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Forest Entomology (日本語) 森林昆虫学	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 53 年 10 月 派遣予定 54 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Forest Department  
(日本語): 森林局

ロ. 隊員勤務先名称: Forest Research Center 日本語名称 (森林研究所)  
所在地: Sepilok Sandakan Sabah 主要都市からの距離 (砂朥越より 25 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サバ州唯一の森林研究所で 10 部門と 100 人程度のスタッフ  
が居る。昆虫部は現在 8 人のスタッフからなっており 5 年前に新設  
された研究所は一般設備は整っているが 飼育部は調整中。

ニ. 設備概要: 研究室と標本室 顕微鏡 昆虫採集用具 テンテーター等  
は昆虫部としてある。

(2) 隊員の業務内容: 数多い種類のセムシ虫に木や丸太や加工木材が被害を  
こうしている。このセムシ虫による被害が激しいようには調査研究する事は大切な事である。  
この被害の原因を好むためあるいは繁殖力が熱帯の国々で行われている。しかし不幸にして  
この被害の本質を引出す事は出来な。しかしに種々のセムシ虫の相互作用を理解  
し重要な要素の分類を研究したい。しかし熱帯の混交林は構成する昆虫が多種多  
あり。植林地の樹種に加害するものも種類が多いため次のような仕事の出る可能性が  
望ましい。① サバ各地の森林の昆虫調査 ② 重要加害昆虫の生活史の研究と  
予防の助言 ③ 標本室の管理、飼育の実施 ④ カウンパートの指導

1. 地位 - 上記研究所 研究員
2. 技術の範囲 - 昆虫の分類と生活史についての一般知識と飼育技術。
3. 業務の形態 - 研究員としての必要な事務。
4. 対象者 - 部長 吉井 三 専門家 6 名 カウンパート 7 名 (20 歳 ~ 23 歳) 中の訓練員 4 名  
者であるが、全般には知識が広く自から進んで研究に取組む姿勢が  
必要である。部長に技術指導をする必要がある。
5. 機材 - 一般の機材はある。顕微鏡 昆虫採集用具 テンテーター等
6. 外国人 - 昆虫部に日本人一名、あとカチン人 1 名 (土壌部) 1 人
7. 使用言語 - 主として英語、多少のマレー語を要するも現地に学習可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 森林昆虫の観察と採集、特に各種植木に  
害を加えるセムシ虫の調査研究を行いたい。その原因を追究して欲しい。  
又、カウンパート予定者の内、技術伝播の可能性があればその技術に  
指導して欲しい。日本人専門家 吉井 三 氏の業務に關しての補佐を  
行って欲しい。(部長と同居)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
出来れば、昆虫学の学位を持った人か又は、昆虫学 昆虫分類 研究に熱意と  
知識のある人。実務経歴 (採集 調査など) 1 年以上。  
大学在学中の者も可

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

又は、  
Wood Utilization  
木材 材質調査

161 製 材

記入昭和 53 年 3 月 19 日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Anatomy of Wood (日本語) 木材組織学	(男) / 人 (女) 人 どちらでも可) 人	訓練開始 53 年 10 月 派遣予定 54 年 2 月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Forest Department Sabah  
(日本語): サバ州 森林局
- ロ. 隊員勤務先名称: Forest Research Center 日本語名称 (森林研究所)  
所在地: Sepilok Sandakan Sabah 主要都市からの距離 (マニラより 25 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: サバ州唯一の森林研究所で 10 の部門と 100 人程度の  
研究所が居る。5 年前に新設。一応の設備は整っているが  
細部については調整中の所もある。
- ニ. 設備概要: マイクロトーム (切片製作装置 (1/12 型)) 標本室等も  
ある。

(2) 隊員の業務内容:

- 1) 木材の分類上の木材の全量定りたりのスライドの準備
- 2) 木材の水を含育量の物理的性質の研究
- 3) 木材の性質に基づく用途の分類 (家具向きとか、パルプ向きとか)
- 4) サバ州の主要な木材の材質を調べ、何の木に属する木の分類および  
その研究 (南洋材の同定等)
- ※ 実際には木は全部採集しきれないと思われ、その内 1/2 を採集し  
採集できると思われる。
- 1. 地位 - 上記研究所 研究員
- 2. 技術の範囲 - サバ州内の木材について、その組織を研究し
- 3. 業務の形態 - 木材の分類を行ったり、それに基づいて用途及び  
判断方法を確立する。 (カクタポトマニ大卒の Mr. Takami)
- 4. 指導者 - 一部 Mr. Chang 外国大学で博士 2 人の Assistant (2 人?)
- 5. 機材 - 一部の機材は、向かい、顕微鏡 標本室などある
- 6. 仲間 - Utilization Section にはいないが、カマカ人 (土壌) 日本人 (昆虫) 加  
て使用言語 - 主として英語 カマ、マレー語を要するも現地に学習可
- 7. 強度試験のための機材なし。顕微鏡 顕微鏡 顕微鏡 (暗室あり) (英会話の勉強)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

設立以来 (材の不足のため) 業務の進行が  
困難のため、月給の中堅の研究員を 2 人 迎える 研究所 業務の発展  
を計るという期待があり、米中などから技術的内容を学ばせよう  
と考えており、現地に 2 人の 希望者を 送りたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 木材組織学 博士の学位 (BSC) を持っている人、現在と  
研究員として業務を行ってきた人は 実務経験がある人
- 又は 林学教室等に在学中又は卒業間もない人で将来南洋材の方面の  
専門家を目指す人。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52年 6月 / 日

161 製 材

調査者氏名 岸 星 則 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Chimwemba Instructor	(男) / 人	訓練開始 52年 10月
	(日本語) <del>林業</del> 伐採機	(女) 人	派遣予定 53年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Land and Natural Resources, Forest Department

イ. 配属先名称 (現地公用語): Industrial Plantation Division

(日本語): 土地・天然資源省, 林野庁, 産業植林部

ロ. 隊員勤務先名称: Chati Kafubu Station 日本語名称 (チヤチ)

所在地: チヤチ 主要都市からの距離 村より50キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1977年5月現在で植林規模は19500777-16であるが  
1950年までにユカリ 9100777-16, 松 38400777-16を  
計画している。

ニ. 設備概要: Hasegawa 65 and 280S chimwemba, 特殊工用類なし(現在ステーション申請中)  
作業場は3倉庫, 保管場所は4庫程の部屋

(2) 隊員の業務内容:

現在約10台のチェーンソーあり、これの操作・保守・管理と Chati Workers Training Centreにおいて毎年訓練生に2ヶ月に渡り植林の操作と  
保守管理を講習する。(ザンビアの林業関係機関から派遣され1回約20名)

① 隊員の業務上の地位: チヤチ作業場(中心部)の伐採機(チェーンソー)の  
管理をする。(一部のモーターを修理する)。伐採機と訓練生を各作業  
現場に責任者を配置する。

② 技術の範囲: Hasegawa 1100CD, 280S, 65型(ステーション製) Dolman  
(トイン製), スタール(トイン製), マンカラ(マツカ製) 等のチェーンソーに精通し  
これの保守管理をする事。

③ 業務の形態: 伐採機管理の下に居し伐採機と訓練生を配置する。  
ザンビアの講習も主たる任務となる。

④ 対象者の訓練生の技術水準: 25才~30才前後 林の中平~高  
チェーンソーの操作が初めて訓練生を教える。

⑤ 現場における外国人の専門家の配置状況: 現在の伐採機管理員は3名  
であるが今年10月雇用予定。専門家はなし

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

常駐研修隊員の支那要請であり同隊員の業績は高く評価されている。  
年間約13万㎡のユカリの木が伐採され伐採監督官の藤原隊員、製材工の  
中野隊員、建築の末口隊員と一連の協力活動も展開しているため  
受入希望の期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

隊員は少なくとも2年の大規模伐採の経験を有し伐採機保守管理の  
経験がある事。年令 25才以上30才以下。  
作業場で使用



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年4月10日

170 漁具 漁法

調査者氏名 神谷 弘司  
秋原 淑人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Methods	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具漁法 — B	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限54年2月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Office of the Governon, Davao Oriental (Mati)
- (日本語): マティ・オリエンタル市
- ロ. 隊員勤務先名称: Mati Fishermen's Cooperative Association (日本語名称: マティ漁業協同組合)
- 所在地: Mati, Davao Oriental (主要都市からの距離: マティより160キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 30名の組合員にて漁業生産組合を組織し、一隻の小型旋網漁船の操業、組合員出資金約30万円、JOCV、比国政府機関から既に約120万円相当が寄贈されている。
- ニ. 設備概要: 旋網漁船一式 (総トン数 12トン)、橋橋付仮事務所。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 隊員の業務上の地位: テクニシャン。
- ② 技術の範囲: カット、マグロ、ジ、サに等な旋網漁法、カッター本釣漁法、刺網漁法等。その他、現場に合った漁法へ紹介。
- ③ 業務の形態: 旋網の操業に同乗し、適時助言指導をおこなう。組合の運営会計に対しても指導的立場をとり。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術的水準・学歴及び年齢: 対象者の組合員はほとんど小学校を卒業し出ている人達で、組合に入る前は手釣り漁業を営んでいた程度。年齢は18才~45才位までである。カウンターパートはマティ市の Cooperative Analyst の Mr. MADIN さんで、漁業の経験は豊富。彼の仕事は協同組合の保健が中心である。
- ⑤ 現地に利用して行く材料: 旋網漁法に使用する資材、魚群探知機等。
- ⑥ 現場に於ける日本人及び日本専門家への配置状況: なし。
- ⑦ 使用する言語: 2~3名の組合員には英語でおか、他人達にはセブアノ語を使用。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** 秋原淑人隊員 (50% 前期組 漁具漁法) の交替申請。当市への安定した魚の供給 (特に魚価の安定供給) が期待されている。同時に現在比国内で推進されている協同組合設立運動の一環として、マティで最初の漁業組合であるこの pilot project の健全な運営が望まれている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- ① 大学水産学科卒又はそれと同等の技術者であること。
- ② 実務経験最低一年以上。
- ③ 免許は無くとも小型船舶の操縦ができること。
- ④ 簿記6級程度の知識があること。



日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 50年 9月 20日

170 漁具漁法

調査者氏名 吉川浩史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
トニカ王国	(現地公用語) Fishing gear and method (日本語) 漁具漁法	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 51年 4月 派遣予定 51年 8月 受入期限 51年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture Fisheries Division  
(日本語): 農林省 水産局

ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)  
所在地: Nukunalofoa Tonga 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: トニカ王国全体の水産行政及びツボエト外に統括しておける  
が職員数は36名、そのうちマグロ船エキアキ子集組員が24名である。

ニ. 設備概要: マグロ船110トン、4隻程のボート、船外機1台、トラツボネット一式(鯧鯉  
管理料用)、車輜ダクト2台、ミモーク1台、UNDPからトローリが底物船バツ各一隻

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: Fisheries officer, Technical officerの下に付く事になり特に  
決められた地位はないが Assistant Technical officerの上と  
なる。

② 技術の範囲: イナリとツボを除くホエのものが多く、そのうちホエの設置  
網の作業にあたる。設置場所の選定、設置、漁獲網の修理  
各島を巡回してローカルの漁民の指導、調査を行う。

③ 業務の形態: 現場型、基礎的知識を応用して行かなくてはならない。  
④ カラクターレポート: 特にカラクターレポートはないが Assistant Technical officer  
あたりからその範囲に入るか、専門に学んだ者だけがその  
ヤニエーターとしての研修に出ている。

⑤ 取組に力を入れる3個人及び月米専任家の配置状況:  
Fisheries officer 1名、リスト、Technical officer 日本人、2名、  
2名、J.O., C.V. 3名(水田、山根、岡部(給食))で頭はすべて外国人  
UNDPとの共同ツボエトで数名の専任家が来る予定  
トローリが、底物船等の調査が開始され始める。

⑥ 使用方言言語: 英語、日本語、トニカ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今年1次の水産管理隊員の交換隊員、現水産  
局は外人が運営しているが運営に来るトニカ人が居た方がいい。トニカ語  
が72%以外にその運営を任せるといい。種々のツボエトが実施され、又計  
画された水産管理の発展の期待がある。前任隊員の高い評価がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
水産管理業もしくは大学卒、いかにも漁具漁法、取得資格も特に肉は、高卒の場合最  
短専任経験 3年以上、大学卒の場合経験年数があればよい。漁具漁法の全般  
にわたる知識、特に沿岸、浅海漁業に対する知識があり、人間的明るさ、積極性  
行動力、47の精神があればよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年4月13日

171 養 殖

調査者氏名 神谷弘司

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fish Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養殖—B,C	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限54年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bicol University, College of Fisheries (BUCF)  
(日本語): ビコ-IV大学 水産学部

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)

所在地: Tabaco, ALBAY 主要都市からの距離 (概より27キロ)

ハ. 事業規模及び内容: MSU, MCU, CLSU等と同じState Universityの一つで所在地はTabaco水産学部、農学部、工学部、教養学部、看護学部等があり、水産学部は4年制である。水産学部は通算漁法科、養殖科、水産物加工科、水産教育科があり、生徒総数497名、加えて一除二. 設備概要: いた教員数は11名。他に高等部がある。

(2) 隊員の業務内容: 現在当学部の泥ガニ養殖増産計画のため Philippine Council for Agriculture and Resources Research (PCARR) の1976年から78年分(1210万ペソ)の資金が援助され、池と併せて Hatchery Tank, pond の建設がなされている。

- ① 隊員の業務上の地位: 水産学部の研究員。
- ② 技術の範囲: 泥ガニの人工増殖の試験研究。人工条件での最大肉質と成長率の低下、餌料試験時に餌による養分保存試験等。(泥ガニは汽水に生息する)
- ③ 業務の形態: 養殖学科の教師と一緒に試験研究のほか、地元の漁民に指導して池を活用している。
- ④ 対象者の心身の状態: 加齢レポートはフィリピン大学卒業生34名の教師。養殖専門で口数は少ないが、好意を持っている。
- ⑤ 現地で利用している機械: 当所以外には殆ど何も無い。現存設備は少く、整っている最中であり泥ガニ専門用の機械は何かは無い。養殖機械はあり。
- ⑥ 職場における外国人: アリカヤ平和部隊が3名いる。水産生物学の授業を教えるが評判はよくない。その他 JICA の6月コースで日本で研修を行った村田の12名が1名いる。(専門水産物加工)
- ⑦ 使用方言言語: 英語  
※ 別途参考資料1~3 原簿、新聞記事等。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規申請。该国には比較的安価な泥ガニ(学名: Scylla serrata, タカガニ: Alimango) は現在 local Market において 8~10ペソ/個で売れている。人工増殖が可能になれば、该国の人達に低価格で供給が可能になる。これは低価格で泥ガニ供給が当面の希望である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
① 大学水産学部増殖科卒業以上。② 高校で淡水養殖を専攻した人。③ 魚類学、動物学、環境学、水産物の加工 (甲殻類) の実務経験がある人。  
日本でカニの増殖に従事した経験があれば問題ないが、カニの経験がなければ1~3の条件を満たした人で22歳~24歳位の人を望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

201 陶 磁 器

記入昭和53年4月3日

調査者氏名 神谷弘司 井垣俊夫 神崎修

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) China Ware	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器-D(1,2)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Iloilo School of Arts and Trades (ISAT)  
(日本語): イロイロ工芸学校

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)

所在地: La Paz, Iloilo City 主要都市からの距離 (イロイロ市内 / キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 教育文化省傘下の工芸学校。一応イロイロ地方の工芸学校を総称して、ここから教育の給付面をイロイロ地方に行なっている。歴史的にコースが非常に多い。陶器科、他には木工科、鍛冶科、電気科、電子科、自動車整備科、工作機械、服飾科、織物科等 20のコースがあり生徒数 2,100 名  
ニ. 設備概要: 教職員数 180 名で本年度予算 2.5 億 5 千万円。陶器科は 2 千万円である。  
全般的に設備が整っており、陶器科に比べて当面の不足は機械面では不自由はない。

(2) 隊員の業務内容: イロイロ地方の良質な粘土をバックに地場産業の育成、発展に協力することであるが、当校に於いて陶器人を育成して社会へ送り出すのが当面の任務である。

- ① 隊員の業務上の地位: インストラクター。
- ② 技術の範囲: 陶器全般であるが、特にロクロ成形、デッサン法、焼成技術が中心になる。必要に応じて屋敷から、土の製造技術も要する。
- ③ 業務の形態: 陶器科の生徒に対する技術指導。日曜学校でのカレッジ生徒に対する指導。カウンターパートに対する欠落面の補充。トレーニングプログラムの改良等。いずれも現地原料を使用した訓練で製品を地球社会へ供給する形となる。一方カウンターパートと一緒にリサーチ活動も行なわなければならない。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴レベル: 生徒及びカウンターパート。カウンターパートは陶器科のインストラクターで、JICAの研修員として名古屋工業技術試験所瀬戸分室で研修修了者であり、陶磁器の概要、特に釉薬の調製にはかなりの技術をもっており、新製品の試作はかなりの程度でできるがロクロ成形ができない。理論面では植野専門家の教育も受けており、MR. Palomero 36才
- ⑤ 現地で利用できる機材: 添付資料参照。
- ⑥ 現場における個人及び日本専門家との配置状況: オランダのカウンターパートが各種機械関係に精通しているが、植野専門家が時々来て助言している。
- ⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規申請。  
既に1つの科にスタートしているが、カウンターパートの専攻面が完全でないで、世の中へ機材が活用されるようになってきている。しかし完全に完全な陶器指導が当科においてなされるよう隊員に期待されている。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 高校卒業科卒業以上、できれば大学が望ましい。
  - ② 時にロクロ成形技術に精通していること。
  - ③ 経験年数 3 年以上。
  - 4. 赴任時年齢 24 才以上。
  - 5. 語学能力があること。
  - 6. 理論面で授業できる位に知識を持っていること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

291 陶 磁 器

記入昭和 53 年 4 月 1 日  
 調査者氏名 神谷 弘 司  
 土 垣 俊 夫

ワ

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) China Ware	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器—B.D(1,2)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年4月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): East Visayan School of Arts and Trades (EVSAT)  
 (日本語): 東ビサヤ工芸学校

2. 隊員勤務先名称: 同 上 日本語名称 ( 同 上 )  
 所在地: Dumaguete City 主要都市からの距離 ( 同 上 )

ハ. 事業規模及び内容: 教育文化省傘下の工芸学校で東ビサヤ地域の代表的な工芸学校の一つである。小学校から大学まで通じているが、中心は高校部と大学部。職業訓練教育である。電気科、電子科、自動車整備科、工作科、材料科、木工科等9科あり。生徒数2000名、教員数110名。  
 ニ. 設備概要: 敷地は4.25haと割合広く、木工、工作科、自動車整備科は歴史も古くアメリカの援助のおかげで設備はかなり充実している。

(2) 隊員の業務内容: 計画に依り代表的な良質粘土産出地ビサヤ地域の窯業発展に寄与することを最終目標とし、手始めに当校に陶芸科を新設し、地域住民の子弟を教育する。

- ① 隊員の業務上の地位: (1)ストラクチャー
- ② 技術の範囲: 製造技術、釉薬技術、焼成技術、窯業技術等全般に亘る。粘土原料調査や釉薬の製造方法、試験結果等を現地へ焼成業者等に教える。カリキュラム作成。
- ③ 業務の形態: 生徒に對する理論、実習の指導及び焼成業者に對する向外的技術指導。
- ④ 対象者及びカントリーパートの技術水準、学歴のレベル: 現在尚ほ其に不慣れなカントリーパートはMSU-IIT(イリテ)の協力を以て訓練生を物探す。その他に当校に建築設計を専攻し、その後焼成の少しかつたことより(焼成技術SK68で経験)を以て工芸学校卒業のMR. LAPEZ(41)が、当人は既に主任クラスであるのでカントリーパートにはならない。
- ⑤ 現地で利用して居る材料: 今年度予算が52万5千円を陶芸科材料購入のために準備されており、現在何れも購入し得ず不明であるが購入以外には30ccの窯業隊員が作成する予定。現在に於いて電気窯(8kw, 230V, Max. temp. 2000°F, 容量 40" x 40" x 60", 横断生式, American Art clay Co.)があり、温度が安定的かつ高い使用は不向き。
- ⑥ 現場に於ける日本人及び日米専門家の配置状況: 直接専門家の配置はないがNational Science Development Board 配属の日本専門家植野氏が時々この地域の視察に於て助言する。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規申請。  
 良質の粘土が豊富に産出される東ビサヤ地域の地場産業の育成が望まれている。市場は近々にセブ市と対峙しているため期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
 ① 高校卒業以上。② 釉薬、カリキュラムの作成を教えられること。③ ロクビ技術に本当に精通していること。④ 窯業に精通すること(実際に日本で窯を築いたことか、理論は完全にマスターして窯の設計、修正が出来ること。燃料はコークス、ガス等)。⑤ 現地の陶芸業者と接する上で釉薬、燃料等を含む経営マインドを有すること。⑥ 年齢 24才以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年11月24日

210 竹 上 芸

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ベンガラブイシユ	(現地公用語) Bamboo Crafts	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 竹 工 芸	(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (BVS)  
(日本語): バングラデシュ ボランティア サービス

ロ. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project 日本語名称 (ナール農村開発計画)  
所在地: 1707 県のコンラビ郡 ナール村 主要都市からの距離 (コシヨリ 50 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BVS は 1971 年設立以来 通算約 2000 人の 1 月内ボランティアを農村開発等に  
従事して、本年度は 300 万 700 (約 59 万円) の予算で、現在 150 人の 1 月内ボランティアを擁す。  
ナール村計画は月 100 (約 16 万円) の予算で実施される。

ニ. 設備概要: 事務所は 5-6 人程度の作業スペースを有する事務的から 1 階。現在事務  
室の計画の取組みを計画。

(2) 隊員の業務内容: 現在勤務先には女性ボランティアは 1 人から 来年 1 月から農村女性センター  
(既設) (既設) を対象に婦人ボランティア組織を組織し、服装用には広く農産物等日常  
用品に必要の物と程度あり、日用品の生産を奨励する計画がある。隊員は BVS  
と連携して農村女性センターに直接教える。

イ. 隊員の役割: BVS ナール村に付  
ロ. 技術の範囲: 現地の相手となる農村女性に BVS ナール村の教育により技術が向上  
して、その結果として収入が増える。BVS ナール村も休学中の大学生が主となり、月 1 回  
では、その基本的知識・技術を十分に判断する。

ハ. 業務の目標: 農村の女性の生活改善  
ニ. 対象者の条件: 年齢 20 歳以上 30 歳以下、技術水準、両者とも全く初心者と考え、技術水準  
は種別による。

イ. 現地に利用する材料: 当地入手可能な材料のみ  
ロ. 現地の現地村の人等: 来年から 1 月内ボランティア (主に 1 月の開発会上 1 月から)  
が BVS に 20 人程度派遣される計画がある。現人は 10 人程度に希望され  
る可能性もある。  
ハ. 使用材料: 1. 繊維 (現) (資材) (現) (必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: BVS は 10 年ほど前から活動している 1 月内ボラ  
ンティア組織で、その活動の目的は (1) 技術上の外国人を育成し、又同じ  
活動をする日本からのボランティアと共同で農村開発をせよ、という期待がある。  
指導するべきは、高度な技術と、日本では想像がつかないような条件下で、当地  
農村で働くボランティアの経験のある人を選定する必要がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では、他国に  
と異なり、その経験 (17 年) (長年) は、農民の生活と理解に、一般に生活  
環境に馴染む (17 年) (長年) であることが必要とされている。  
現人は 10 人程度に希望される。



260 小型造船  
青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52 年 4 月 日

260 小型造船

調査者氏名 花田真人 *Hanada Makoto*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS (ホンジュラス)	(現地公用語) CONSTRUCCION DE BOTE PEQUEÑO (日本語) A. 小型船舶建造	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限53年内月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 CONSEJO SUPERIOR DE PLANIFICACION ECONOMIA. (CONSPLAN)			
1. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION DE FOMENTO COOPERATIVO. (日本語): 協同組合助成局			
ロ. 隊員勤務先名称: COOPERATIVA PESQUERA ATLANTIDA 日本語名称 (アトランティダ漁業協同組合) 所在地: LA CEIBA (ラセバ) 主要都市からの距離 (ラセバより200キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 各漁協の要請によりボート(ランチャ)、小型船舶の建造をラセバにある水産生物試験場 Laboratorio de Biología Marina... 天然資源省所屬 (Recursos Naturales Renovables) に2行方。昨年はアフリカ平和部隊メンバーの指導でボート(ランチャ)約10隻、2ton位の漁船を1隻建造。 ニ. 設備概要: セイバ水産生物試験場に簡易船台があるのみ。今まではセイバの漁業協同組合の組合員達が何人の工具を持ち寄って手造りで建造した。従って工具什器類は何もない船台は試験場の敷地内にあるが屋根が無いので日照り雨にさらされる。設備も何もないセロから出発する覚悟が必要である。(写真送付済と参照されたい)			
(2) 隊員の業務内容: ボート(ランチャ)小型船舶建造及び修理、小型船用エンジンの据え付け、船外機小型船用エンジンの修理も含まれる。			
① 業務上の地位: 漁業協同組合助成局所屬、漁業改良普及員。(船舶建造技師)			
② 技術の範囲: ボート(ランチャ)5ton位までの漁船建造技術、小型船舶用エンジンの据え付け出し技術、船外機、小型船用エンジンの修理が出来るのはよい。漁撈什器の据え付け、取扱い技術			
③ 業務の形態: ラセバを基地として仕事をするが、時には、全国の漁協を巡回指導する必要がある。別に勤務時間はない。			
④ 対象者のカカカウンターパートの技術水準、学歴、年齢: 対象者は全国の漁業組合員であるがラセバの組合員の中には、2~3名、米國平和部隊より、ランチャの建造技術(素人造り)を習った者もある。カウンターパートは今どこを見たらいいか上記、ランチャの建造経験者をカウンターパートにお任せ可。			
⑤ 現地で利用出来る機材: 船台のみで他は何もない。			
⑥ 現場における米3国人、日本専門家の配置状況: ボート建造に関しては誰もいない。			
⑦ 使用言語: 西語、その他部族語として、カリオン語、ミスチト語も話されている。隊員は西語がけり十分である。バヒーヤ島は英語を使用している。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 昨年まで素人造りではあるが、アフリカの平和部隊がランチャを建造しており、一応の知識は教わったものの彼等に任せてはまてへ建造するに到らない。従って彼等自身の手で建造出来るよう指導すると共に自國の造船、修理のパートナーとして将来の基盤と作る欲しいと期待している。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): <木造船>			
学歴、年齢は向かいが水産会社の工務部(造船関係)に勤務の経験があり、学校卒業後充分なる実地経験(3~4年以上)を有する者			
○木造船の建造経験を持つ事			





# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年9月30日

311. 工作機械

調査者氏名 神谷弘司  
一三三三三三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Machine Tools	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械(研削盤)-D(2,1)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限53年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council (NMYC)  
(日本語):

2. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development (両名詞) (国立中央職業訓練校)  
所在地: Port Balifaire, Taguig, Metro Manila (主要都市からの距離 60kmより5キロ)

3. 事業規模及び内容

フィリピン国内の省と国連(UNDP, ILO)の共同プロジェクトで、out of school youth, 地方訓練校の教官を主として対象として職業訓練指導を行なう。

4. 設備概要: 平面研削盤2台, 円筒研削盤1台, 工具研削盤3台

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 機械科の教官及びPMインサー。
- ② 技術の範囲: 研削の基礎から高度のテクニックを必要とする広範囲に亘る技術。特に工具研削盤による各種カッターの研削技術。
- ③ 業務形態: 生徒を対象に技術指導をするよう研削盤コースの開設施設の調査、機材等の整備及び実習指導の提供。(インストラクターと協力して)
- ④ 加外パートの技術的水準: 技術系大学卒、一般企業での経験はあるが、研削盤に関する知識は乏しい。
- ⑤ 職場に在りた3外国人等: 測定コースに国連の専門家がいる(スウェーデン人)。又現在フランス盤コースには協働隊員が1名いる。
- ⑥ 現地で利用している機材: 別添資料参照
- ⑦ 使用する言語: 英語

※ 最近のコースに対して国連が新しい機材を入れたが、頑石がなく使用できない状態にある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請

研削盤コースの開設及び設備等の充実に向け、生徒を訓練し、企業への需要に対応できるように供給し、特にout of school youthの自立への道を拓くことが期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

前年又は職業訓練校卒年以上で、この道での実務経験が最低3年以上の人を望む。専任指導員兼加中心として必要能力を發揮可能な人(現地に法的に不可能な人)。可能であれば現在日本に職業訓練校で指導に携わっている人。取得資格... 技能検定 切削工具研削2級 他関連資格を有している人。現地到着時25歳以上を望む。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

311 工作機械

記入昭和52年9月30日

調査者氏名 神谷弘司  
一ニミ 啓明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Machine Tools	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械(精密旋盤) - D(2.1)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限53年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council (NMYC)  
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development (OMSD) (勤務名称: 国立中央職業訓練校)  
所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (km) より 5 km

ハ. 事業規模及び内容:

フィリピン国労働省と国連 (UNDP, ILO) の共同プロジェクトで, out of school youth, 地  
訓練校の教官, 一般企業人を対象とした職業訓練実施を行なっている。  
ニ. 設備概要: 精密旋盤 5台 (英国製)

(2) 隊員の業務内容: 1977年7月まで「ラジック」のボランティアが担当していたコースであるが、彼の任期  
終了後も未だ当コースを維持できず、現地の人が育成できず、この協力の後、停滞した。

- ① 隊員への業務上の地位: 機械科の教官兼アドバイザー。
- ② 技術上の範囲: 普通旋盤コースは開設されているが、精密旋盤コースは一時中断した状態とな  
っている。これを再開し、一般精密旋盤技術の範囲で教える。
- ③ 業務上の形態: インストラクターとしての職業訓練教育。
- ④ 対象者及び教材レポート: 現在レポートは主に普及旋盤に集中している。精  
密旋盤については知識、技術も不足している。
- ⑤ 現地で利用している教材: 別途写真参照。
- ⑥ 外国人等: 今年7月まで「ラジック」のボランティアがいたが、現在はいない。
- ⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

新規要請。精密旋盤コースの需要は計り、out of school youth, 一般企業人、地  
の教官の職業訓練を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専又は職業訓練校卒業以上で、2年以上の業務経験が最低3年以上の人を希望。  
取得資格……普通旋盤及び精密器具製作2級その他関連資格をもちたい。  
現地で評定的に必要と思われる。現地到着時25才以上を希望。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1973-12-5  
 (73) 3

記入昭和 51年 4月 2日

311-5 機械

調査者氏名 在バングラデシ駐在員

受入希望国名 バングラデシユ	受入希望業種 (現地公用語) Machine Tools (日本語) 工作機械	受入希望人数 (男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	派遣 伊藤健一 訓練開始 年 月 派遣予定 51年 10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
-------------------	---	---	--

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Water Development Board, Ministry of Flood Control, Water Resources and Power, 水資源開発委員会, 治水, 水資源, 電力省  
 (日本語): Resources and Power, 水資源開発委員会, 治水, 水資源, 電力省
- ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ( )
- 所在地: Dacca, Chittagon, Khulna, Bogra 主要都市からの距離 ( より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 全国57所の修理工場を有す

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 1) 隊員の業務上の地位 } Additional Manager のもとで 機械の部品を製作
- 2) 業務の形態 } 転々として 修理工場の工作機械を使用し、テストレ  
 ンズを行ったりと、技術要員の訓練を行う。
- 3) 技術の範囲 : 熱処理, 各種検査ととも Piston, Piston rings, Cylinder liner gears 等 カットレシのタービンエンジンの修理を行う。
- 4) 指導対象 : 実習経験と有る 現場の夕方エグゼクティブ
- 5) 使用可能な機材 : 現地の工作機械類
- 6) 必要言語使用を予知とす。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現場での日常作業を通い、技術・職工の技術の向上を計ることを目的としてあり、  
 隊員自身で、操作、維持、補修の作業の実施出来る人を求めている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1) 短大卒程度
- 2) 資格: 上記施設 機械を取扱うに必要を資格・免許は必須
- ③ 実習経験: 3年以上

# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

312 冷凍機器

記入昭和 51 年 4 月 7 日

調査者氏名 仲井、入江

受入希望国名	受入希望業種 <small>(現地公用語)</small>	受入希望人数	派遣予定	
マラウイ	Mechanic	(男) 2 人	訓練開始	年 月
	<small>(日本語)</small> 機械整備(冷空調)	(女) 人	派遣予定	年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): P.V.H.O, Mechanical Services.

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Mech. Services, Muzu Workshop 日本語名称 ( )

所在地: P/BAG Muzu, Muzu, Malawi. 主要都市からの距離 (Muzuより 0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

規模としては北部地之全体管理が中心で、主として車輛関係以外は可成り多くの病院・学校・空港・レストラン・ステイハウス等の保守及び修理

ニ. 設備概要:

自立的にはないが最低限の Workshop の工具と冷蔵庫修理用具に添付機一式。

(2) 隊員の業務内容:

まずは何でも屋と同じ位の内容だが、マラウイ政府建物の備品の保守及び修理で、北部地では南・中部に比して、特に電気設備がとほしいので、病院・空港等ではセネークでの自家発電、その為、小工用ランプからセネーク及びセネークエンジンまで多く富んでいる。特に冷凍空調関係の知識者が Muzu には居ないから、冷凍及び冷蔵庫の修理も大。

病院関係の工事が多く、又急を要するが、重要となく、内容としては、小物のランプ等、ベルト等の修理、消毒器修理、冷蔵庫 X-RAY、セネークエンジン等

主はこの Workshop では工事に力がかかる人等と置からスパーパーツ等の管理及び書類整理までやる事になるから、日本では無いが、管理者経験に接する

1名は、Blantyre 勤務とする。

Blantyre では、牛乳保存用、チキン保存用冷凍庫、や給排水設備の設計の仕事もある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

冷凍空調技術者がごく少数でもあり(無同然) 有能な技術者がいないから特に Mech. Services は色々の仕事を任せ持っているせいもあり、この物と云うより多くの物は経験ある技術者及び管理者を求めている様子。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

冷凍空調関係の経験者で電氣的知識のある者、機械的知識のある者

(ここでは冷凍空調だけでなく、セネーク及びセネークエンジン等も工事に含まれるので)

大型洗濯機、乾燥機